

改めて問われる議員の資質

有権者の皆さまも投票権の行使で意思の表明を

二十八歳で市民の皆さまの負託を受け、鹿児島市議会へ送って頂きましてから、四期十六年が過ぎようとしております。

この十六年の間に、議会においては、議会運営委員会の委員長(通算三年)を始め、各委員会の正副委員長を十四回歴任し、様々な経験を積み、市民の皆さまの代弁者として、何らかのお役に立てているものと自負致しております。

十八歳以上が有権者となって投票が出来ることになり、若年層の投票率向上が期待されております。一方、国会や地方議会を問わず議員の不祥事や汚職事件等がこれまでも数多くあり、その度に有権者の皆さま方の不評をかって来ましたが、最近では、「政治家の資質そのものが如何なものか」と思われるような不祥事の発覚が頻発し、若い方々を始め、多く

の国民の皆さまを失望させ、それが投票率低下につながっているのではないかと思っています。

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、有権者の皆さま方には、その候補者が本当に自分たち政治に携わる者全てが、もう一度、襟を正さなくてはなりません。

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、私たち議員自身も、自分がどのような考えを持ち、どのような活動をしているかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

私は「単に批判するだけでは政治は良くなる。自分自身がそこに身を置いて政治を変えよう」という想いで若くして政治の世界に入ったのですが、現在の若い方々の政治に対する関心は高まっているように感じます。

昨年、約七十年ぶりに公職選挙法が改正され、今年の夏の参議院選挙からは、

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、有権者の皆さま方には、その候補者が本当に自分たち政治に携わる者全てが、もう一度、襟を正さなくてはなりません。

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、私たち議員自身も、自分がどのような考えを持ち、どのような活動をしているかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

私は「単に批判するだけでは政治は良くなる。自分自身がそこに身を置いて政治を変えよう」という想いで若くして政治の世界に入ったのですが、現在の若い方々の政治に対する関心は高まっているように感じます。

昨年、約七十年ぶりに公職選挙法が改正され、今年の夏の参議院選挙からは、

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、有権者の皆さま方には、その候補者が本当に自分たち政治に携わる者全てが、もう一度、襟を正さなくてはなりません。

「誰に投票しても同じ」「誰がやっても変わらない」といった諦めが生じ、結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。

また、私たち議員自身も、自分がどのような考えを持ち、どのような活動をしているかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。

か、見極めをして頂くことも大切なことだと思えます。そして、自分たちが選んだ人物が議会内でどのような発言をし、どのような考えを持っているのかを、様々な機会を捉えて知って頂く努力をしなければならぬことは当然です。



自民党新政会の政審会長として森市長へ予算要望（平成27年12月）

結果としてそれが質の悪い政治家を誕生させる温床となっているのではないのでしょうか。



代表質問を行う川越けいじ（平成27年第3回定例会）

市政に対する質問や相談など
お気軽にお寄せ下さい。

鹿児島市政に対する市民の皆さまからの質問や相談を受け付けております。安全・教育・子育て・福祉など、どのような事でも結構ですので、左記TEL・FAX・メールにお寄せ下さい。

市議会議員 川越 けいじ
TEL・252-7777 / FAX・223-3426
E-mail:info@kawagoe-keiji.jp

市議会報告

自由民主党 新 政 会
鹿児島市議会議員 川越 けいじ
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
TEL 216-1436 FAX 227-7955
〒892-0846 鹿児島市加治屋町6-8
TEL 252-7777 FAX 223-3426
E-mail:info@kawagoe-keiji.jp

4月から「こども未来部」を設置し子育て支援など更に推進

一般会計当初予算過去最高額の2,421億8,600万円

平成二十八年第一回定例会が、二月十五日から三月二十二日まで、三十七日間の会期で開かれ、平成二十八年一般会計予算を決定しました。川越けいじがその概要について報告致します。

一般会計当初予算は、約2,421億8,600万円と、四年連続で前年度を上回る過去最高額となり、地方創生に向けた力強い予算となり、今年四月から健康福祉局に「こども未来部」を設置して少子化対策や子育て支援を更に推進します。

以下、いくつかの事業をピックアップしてご説明致します。

安心安全

●核島大規模噴火対策事業（2千8百万円）
昨年八月の噴火警戒レベル4への引き上げ対応をふまえ、新たに市街地側の大規模防災対策や、長期にわたる避難生活支援対策、複合災害時の避難計画の検討など、火山対策を強化します。

●ドクターカー運用事業費（1億2千8百万円）
救命率の向上、後遺障害の軽減など、救急医療の更なる充実を図るため、ドクターカーの運用を、月曜日から土曜日の八時三十分から十七時十五分まで行うとともに、



市議会議員 川越 けいじ(44)

●こども医療費助成事業（13億8千8百万円）
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、今年四月から医療費の助成を中学卒業時まで拡大して実施します。

●婚活サポート事業（9百80万円）
結婚相談所を中央公民館からキャンセビル十階に移転するとともに、九時から十八時までの開所時間を一時から二十時に変更する

市民福祉向上

●元氣いきいき 検診事業（5億円）
生活習慣病の予防・早期発見のため、各種がん検診等を実施するとともに、特定年齢者及び肝炎ウィルスの無料検診を実施します。

●不妊に悩む方への 特定治療支援事業（1億3千5百万円）

「初心」を忘れず 市民の皆様のため 懸命に頑張ります。

に、新たに高等学校卒業程度認定試験合格のための講座受講に対し給付金を支給します。

●ひとり暮らし高齢者等安心通報システム設置事業（6千8百万円）
一人暮らし高齢者等の世帯で、急病などの緊急時に、押しボタンやセンサーからの通報により警備員が駆け付ける通報システムを設置します。

●中小企業資金融資事業（3億5千万円）
中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証等に対する助成を行います。

●本年度から創業支援資金の年齢要件の廃止や自己資金要件の緩和を図るとともに、信用保証料に対する助成を拡充します。

※掲載した事業と予算は、一般会計予算の一部です。

二十四時間三百六十五日の本格運用に向けて取り組みを進めます。

●子育て支援 センター設置運営事業（6百万円）
潜在保育士の再就職支援等を行う「保育士・保育所支援センター」を設置し、保育士を確保するための対応充実を図ります。

なご、市民の皆様様の利便性向上を図ります。

（二十八八月移転予定）
●大学在学時奨学金返還支援基金出捐金（3千5百万円）
将来の地域産業の担い手として、県内の特定分野（農林水産・観光・IT産業）などを予定に就職した者が受けていた大学在学時の奨学金返還を支援するため、県が主体となって設置する基金に

不妊治療の経済的負担を軽減するため、配偶者間の特定不妊治療に要する費用について、初回の助成額を拡充するとともに、新たに男性不妊治療の助成を行います。

※初回助成上限額20万円→300万円

●母子家庭等自立支援事業（6千百万円）
就業支援講習会や高等職業訓練促進給付金等の支給を行うとともに

●学校クーラー設置・更新事業（3億6千7百万円）
夏季の降灰時期においても、良好な教育環境を確保するため、老朽化等に劣化したクーラーの更新を行います。

●特別支援学級施設整備事業（2千万円）
障害のある児童生徒の発達や、その程度や適正に応じた適切な教育を実施するため、施設

●安心安全住宅ストック支援事業（1億7百万円）
住宅の安全性を確保し、良質なストックの形成を図るとともに、子育て高齢者世帯の安心な住まいづくりを支援するため、住宅の耐震化やリフォームに対する助成を行います。

また、県外からの移住者が行うリフォームに対する助成を拡充します。

●ゼロエネルギー住宅整備促進事業補助金（8千4百万円）
住宅用太陽光発電システムとホームエネルギー・マネジメントシステム（HEMS）の併置や家庭用燃料電池等の設置を行う市民等に対して助成します。

教育環境向上

地域経済活性化

市民が安心して暮らせる、活力と優しさに満ちた鹿児島市の実現！

市立の小・中・高校クーラー設置と更新

平成22年9月、川越けいじが行った代表質疑において、市立の小学校・中学校・高等学校の普通教室へのクーラー設置の方針が、森市長より初めて示されて以降、平成26年度までに全ての小・中・高等学校に設置が完了しました。(対象学校114校)これにより、夏場、特に降灰時における教室の環境改善がなされております。また、せっかく設置したクーラーですので、現場の判断で適宜適切な使用がなされるよう、教育委員会を通じ進言してきております。平成28年度におきましては、特別教室に設置してある老朽化し、機能の低下したクーラーの更新を行うことになっています。川越けいじは、4子の父親として、常に子どもたちの教育環境の向上に意を用いており、今後も子育て世代の代弁者として教育環境の更なる向上に努めて参ります。

第1回鹿児島マラソン2016開催

本市の賑わいを創出するとともに、魅力を体感できる第1回「鹿児島マラソン2016」が3月6日(日)に開催され、フルマラソン(42.195km)に9,803人、ファンラン(約9km)に2,051人の合計1万1,854人が参加し、うち県外からの参加者が4,245人、海外からの参加者が140人でした。今回の鹿児島マラソン開催によって、鹿児島市の魅力発信が行われたとともに、大きな経済効果ももたらされました。今後も活力のある鹿児島市づくりを目指し尽力して参ります。



セーフコミュニティ国際認証取得

鹿児島市は、世界基準の安心安全都市を目指し、WHO(世界保健機関)が推進するセーフコミュニティ国際認証取得に取組み、今年の1月に認証を取得しました。セーフコミュニティは「事故やケガは対策を行うことにより未然防止できる」という考え方のもと、身近で起こっている事故やケガを予防する取組みのことであります。本市では、「学校の安全」「子どもの安全」「交通安全」「DV防止」「自殺防止」「防災・災害対策」「高齢者の安全」の7つの分野に取組みます。



「かごリン」で中心市街地の回遊性向上

温室効果ガスの排出抑制を行うとともに、中心市街地の回遊性向上を図るため、市内中心部に設置する21ヶ所のサイクルポートで自転車の貸出・返却を行っております。市民の皆さまをはじめ、観光客の方々の利用も多いため、今後、サイクルポートの拡充を行う中で中心市街地の活性化にも努めて参ります。



「こども未来部」設置で安心子育て

昨年12月に策定した、「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に掲げてある、『結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」』に基づき、少子化の流れに歯止めをかけていく上では、結婚・出産・子育ての希望を実現することで、少子化対策につなげていくことが重要であり、そのためには、安心して結婚し、子どもを生み育てることができる環境を整備していかなければなりません。このような状況をふまえ、切れ目のない子育て支援施策を更に推進するため、今年4月から健康福祉局に「こども未来部」が設置されます。川越けいじは、これまでも子育て世代4子の父として、安心して産み育てられる施策の充実に取り組んできましたが、今後も更なる拡充に尽力して参ります。

子ども医療費助成制度の堅持および拡充

川越けいじは、4子の父親として子育てに携わるなかで、子育て家庭における、経済的負担軽減の重要性を常に感じております。特に医療費など、時期を想定できない出費については、『助成制度を堅持しなくてはならない』という立場から、平成20年度に鹿児島県からの補助が打ち切れそうになった時も、「鹿児島市に対し県から補助を廃止するとの打診があった」との情報を一早く入手し、平成19年第3回定例会の個人質疑でその事実を明らかにし、県の対応を批判したうえで制度堅持を求め、乳幼児医療費助成制度(現在の子ども医療費助成制度)が堅持されました。その後も子育て支援施策の拡充を求め、鹿児島市においては今年度の4月から、小学校修了前までの医療費助成を、中学校修了前まで拡大することになっており、予算が成立しております。

改正時期	医 科	歯 科
昭和48年 7月	0歳児のみ	
昭和48年10月	6歳未満児まで	↓
昭和57年 7月	↓	4歳未満児まで
昭和59年 7月	6歳未満児まで	
平成19年 4月	小学校就学前まで	
平成25年 8月	小学校修了前まで	
平成28年 4月	中学校修了前まで	



かわ ごえ
川越けいじ(44歳)

昭和46年12月 鹿児島市生まれ
敬愛幼稚園・山下小学校
甲東中学校を卒業

平成2年3月 鹿児島玉龍高校 卒業

平成6年3月 青山学院大学 経営学部 卒業

4月 西日本銀行(現 西日本シティ銀行) 入行

平成10年12月 政治を志して西日本銀行退職

平成12年 4月 鹿児島市議会議員に28歳(最年少)で初当選

現在まで 4期連続当選

●妻と長女、長男、次男、三男の6人家族●

議会運営委員会 委員長
総務消防委員会 委員長
環境文教委員会 委員長
都市整備対策特別委員会 委員長
などを歴任

現在

- 山下小学校PTA会長
- 鹿児島玉龍高校同窓会40期幹事
- 鹿児島青年会議所シニアクラブ会員
- ボーイスカウト鹿児島県連盟理事
- 内閣府認証NPO法人 日本犯罪防止事業団事務局長
- 自由民主党鹿児島県連青年局長など

ドクターカー運用体制を更に強化へ

川越けいじの政策の大きな柱の一つが「安全で活力のある鹿児島市づくり」であり、その具体的施策が「ドクターカー導入」による救急救命体制の確立でした。川越けいじは立候補前からドクターカー導入を訴え、天文館などで街頭演説をしながら署名活動を行い、鹿児島市議会に陳情を提出しました。しかし、陳情は採択されることがなく、審議未了廃案となりました。その後、平成12年4月に川越けいじは初当選し、個人質疑をはじめ、あらゆる機会を捉えドクターカー導入を訴えた結果、平成26年10月ついに鹿児島市にドクターカーが導入されました。運用開始当初は月曜から金曜の8:30～17:15までの運用でしたが、今年の2月から、土曜の8:30～17:15も加えての運用がなされております。現在、救急医の確保が十分ではないため、暫定運用となっておりますが、救急医の確保が出来しだい順次拡充し、24時間365日の本格運用開始を目指しています。



市立病院駐車場跡地に「国際交流センター」

加治屋町の市立病院跡地につきましては、計画段階から地元説明会やパブリックコメント手続きをし、子どもの遊び場や市民の運動・散策の場など、多様なニーズの受け皿となる「都市緑地」として、平成30年度から整備工事に着手する予定です。また、京セラ稲盛名誉会長からの寄付(県市に各10億円)を活用し、加治屋町の駐車場跡地には「国際交流センター(仮称)」を整備する方針です。

新年度も更に充実する子育て支援施策

児童が病気の回復期にあり、かつ集団保育等が困難である期間において、一時的に施設でその児童の保育を行い、保護者の子育てと就労等との両立を支援する「病児・病後児保育事業」においては、これまで0歳から小学3年生としていた利用対象児童を、今年の4月から、0歳から小学6年生までに拡大することになっております。また、鹿児島市では北部・東部・西部・中央・南部の5保健センターを子育て世代包括支援センターとしても位置付け、妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援を行っておりますが、新たに、支援センター5か所に母子保健支援員を配置するとともに、退院直後の母子へのサポートを行う産後ケア事業に日帰り型を新設します。別項で取り上げております、「こども医療費助成制度」の対象拡大をはじめ、平成28年度においても、様々な事業で、更に子育て支援施策の拡大・充実が図られております。

